

# かわらばん

KAWARABAN 冬号



発行年月日／  
2026年1月15日

発行人／理事長 難波 義夫  
編集／金光病院広報委員会

〒719-0104 岡山県浅口市金光町占見新田740  
TEL(0865)42-3211(代)・FAX(0865)42-5801  
TEL(0865)42-3261(診療予約専用ダイヤル)

e-mail konkou-hos@mx1.tiki.ne.jp  
URL https://konkohp.jp/

## Contents

- 慢性腎臓病透析予防チーム .....①
- 自動再来機、マイナンバーカード、防災フェア .....②
- 老健・通所リハビリだより、外来医師紹介 .....③
- 職場体験学習 .....④

## 慢性腎臓病透析予防チーム

透析看護師 仁木 美紀

当院では、腎機能の悪化をできる限り防ぎ、透析治療へ移行せずに過ごせる期間を延ばすことを目標に、「慢性腎臓病透析予防チーム」を設置しています。医師・看護師・栄養士・理学療法士で構成され、それぞれの専門職が連携しながら患者様に合わせたサポートを行っています。

主な活動内容は、

### 医師：

腎臓の状態をチェックし、これからの治療方針や必要な検査・お薬について分かりやすく説明します。



### 看護師：

血圧や生活リズム、日常の困りごとなどを一緒に振り返り、無理なく続けられる生活の工夫をサポートします。



### 栄養士：

食事の疑問にお答えし、腎臓に負担をかけない食事のポイントを分かりやすくお伝えします。



### 理学療法士：

体力維持や血圧管理に役立つ、安全で続けやすい運動や体力づくりを提案し、日常生活を元気に過ごせるようお手伝いします。



私たちは、患者様が不安なく治療や生活改善に取り組めるよう、一人ひとりに寄り添った支援を大切にしています。腎臓に関して気になることがあれば、どうぞお気軽にご相談ください。私たちが、これからの生活を一緒にサポートいたします。



# 自動再来受付機を導入しました 再診の方は受付機をご利用ください

当院では、患者サービスの向上や医療DX（デジタルトランスフォーメーション）への取り組みとして、12月9日より「自動再来受付機」を1台導入しました。正面玄関を入って左側に設置しています。

今までは受付窓口の診察券箱に診察券を入れて受付をしていましたが、今後は「自動再来受付機」をご利用いただくこととなります。

導入直後は何かとご不便をおかけすると思いますが、少しでも早く患者様がスムーズに受付処理を行えるよう、職員一同努めてまいりますので、何とぞご理解ご協力くださいますようお願いいたします。



## ★利用可能時間

8:30～11:45、13:30～16:30

（土曜日は13:30～15:30、日曜日・祝日は除く）

★初診・診察券がない患者様、また診療科によっては自動再来受付機では受付ができません。

★毎月1度は、マイナンバーカードまたは資格確認書の提示を受付窓口までお願いします。

ご不明な点がございましたら受付スタッフまでお声掛けください。



# マイナンバーカードまたは資格確認書をご提示ください！（従来の健康保険証は使用できません）

2025年12月2日から、健康保険証がマイナ保険証を基本とする仕組みへ移行しました。

12月2日以降は、マイナンバーカードまたは資格確認書を持参いただき、月に1度は受付窓口への提示をお願いします。



## 2025年度 浅口市防災フェア

看護部部長 伊藤 祐美子

浅口市からお声掛けをいただき、笠岡地区消防組合の皆さまと金光病院スタッフで、防災フェアに参加し救急法のデモンストレーションを行いました。

今回のテーマは「目の前で人が倒れた時、あなたはどうか？」。

地域の皆さまと一緒に、いざという時に大切な“最初の行動”を学ぶ温かい時間となりました。

寸劇では、突然倒れた方を見つけた場面から始まり、声を掛けて反応を確かめること、周りに助けを求めること、119番通報、胸骨圧迫やAEDの使用、簡易担架の作成および搬送といった流れを、実際の動きを交えて紹介しました。

「自分にもできるかもしれない」と感じていただけるよう、ス

タッフ一同心を込めて演じました。

さらに今回は、技術だけでなく“そばにいる人を思いやる気持ち”の大切さについてもお伝えしました。妊婦さんや高齢の方、体調が心配な方など、災害時に不安を抱えやすい方をみんなで支え合うこと、それが地域全体の安心につながります。

今回の取り組みが、「もしもの時、誰かの力になりたい」そんな温かい思いが広がるきっかけになれば幸いです。

金光病院は、これからも地域の皆さまと共に“いのちを守る力”を育んでまいります。



# 老健だより

事務 白坂 美紀

## 老健の費用ってどんな仕組み??

介護保険サービスは、1～3割の自己負担で利用することができます。

ケアリゾート金光(老健)は、介護サービスのうち、施設サービスに該当し、介護保険の1～3割分の自己負担に加えて下記のような自己負担が必要になります。

施設サービス費 (介護保険分の) 1～3割	+	居住費 (滞在費)	+	食費	+	日常生活費 など	=	自己負担
-----------------------------	---	--------------	---	----	---	-------------	---	------

住宅税が非課税世帯の方は、手続きをすることで、「居住費」と「食費」の負担は軽減することができます。

負担軽減に関する詳細は、浅口市発行の「みんなのあんしん 介護保険 わかりやすい利用の手引き」に掲載されていますので、ご参照ください。(浅口市役所高齢者支援課で受け取ることができます)

令和7年4月1から、浅口市の介護保険に関する手続きの窓口は、浅口市高齢者支援課(本庁)のみに変更されていますのでご注意ください。

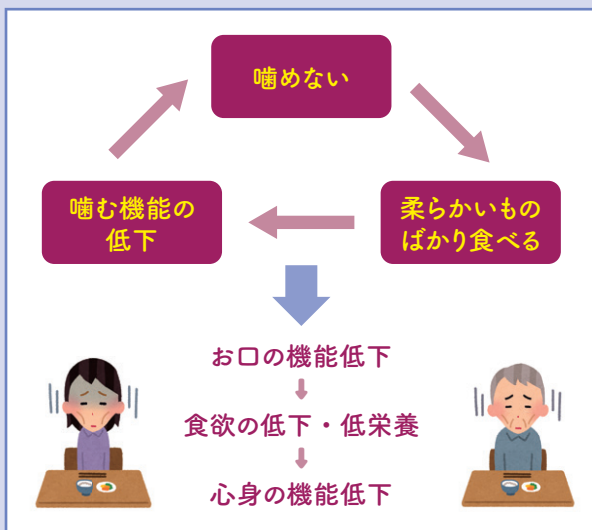


## 通所リハビリテーションだより

看護師 岡川 夕美子

食べる・話す・呼吸する・表情をつくるといった口がもつ基本的な働きである口腔機能が低下すると、食欲も低下し、栄養が偏り、不足するようになります。

その結果、食事の問題だけでなく、身体機能への影響(筋肉量、筋力が減少し活動量が低下、免疫力や代謝機能が低下)、コミュニケーションや精神面にも影響が出ます。



通所では、毎月の利用者さんの体重測定、定期的な口腔状態の観察、栄養状態の評価に加え、管理栄養士を含む多職種とのカンファレンスをおこなっています。

その中で、口腔機能の低下を早期に発見し、低栄養や身体機能の低下などの重症化を予防するための話し合いをおこなっています。

利用者さんの中には、「なかなか食べられない」という方がおられますが、利用者さんの嗜好を聞きながら、咀嚼嚥下機能の状態等に合った食事を工夫しています。少量でも高エネルギー、高たんぱく質なものを選ぶ。必要に応じて栄養補助食品や間食を上手に活用することなどもアドバイスしています。

今後も利用者さんの食事の楽しみを大切にしながら生活機能向上につながるお手伝いをしていきたいと考えています。



## 乳腺・内分泌外科外来 医師紹介

2025年10月1日より乳腺内分泌外科の医師が1名、新たに加わりました。(火曜日午前は小池先生、木曜日午後は景山先生)



白川 絢子 先生

所 属:

川崎医科大学附属病院 乳腺甲状腺外科

外来診療時間:

毎週金曜日 13:30～16:30

乳 房の「しこり」「はれ」「痛み」

脇の下の「ぐりぐり」「はれ」など

気になる症状があればお気軽にご相談ください  
(予約も取れます)

浅口市を始めとする乳がん検診も行っています

# 職場体験学習

看護部部长 伊藤 祐美子

2025年11月11日～13日の3日間、金光中学校・鴨方中学校の生徒さんが当院で職場体験を行いました。院内には、生徒さんの元気なあいさつが響き、明るく温かい雰囲気に包まれました。

体験では、血圧測定や車椅子操作、个人防护具着脱、手術室での直接介助などの看護実践に加え、手洗いチェッカーや軟膏準備、放射線課・臨床検査課・言語聴覚士・受付業務の仕事にも触れ、医療の多職種が連携していることを学びました。

また、介護老人保健施設では、通所・入所の利用者の方々と交流し、体操やレクリエーションのお手伝いを体験しました。優しく声をかける姿に、ご利用者の皆さまの笑顔が広がっていました。

生徒さんからは、「医療と福祉の仕事はたくさんの人が支えていると分かった」「将来、医療に関わる仕事をしてみたい」などの声が聞かれました。

今回の体験が、生徒さんにとって将来を考えるきっかけとなり、地域の医療・福祉を身近に感じてもらえる機会となれば嬉しく思います。これからも、地域の子どもたちとともに学び合い、未来の医療人を育む取り組みを続けてまいります。



車椅子体験



言語聴覚士の仕事を学ぶ



薬剤課  
軟膏調剤体験



手術室  
縫合体験や  
モニター装着

## 金光病院の理念

地域の人々の「健康」と「命」を大切にします。

## 金光病院の基本方針

1. 急性期から終末期まですべての領域において全人的医療を行います。
2. 患者様の自立を支援し、早期在宅復帰を目指します。
3. 謙虚な心、礼節を忘れず、責任を持って最善の努力をします。
4. 研修・研鑽に励み、質の高い医療・看護を提供します。
5. 地域の中核病院として、周辺医療機関、施設との連携を推進します。

## 編集後記

明けましておめでとうございます。

まだまだ寒い日が続きますが、体調に気をつけて暖かくして過ごしましょう。

皆様にとって  
2026年がよい一年  
となりますように。



日本医療機能評価機構  
医療機能認定病院